



令和 7 年度進行管理・評価シート
新庄市歴史的風致維持向上計画（令和 5 年 2 月 1 5 日認定）
（最終変更 令和 6 年 5 月 3 1 日）

口進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)		
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)		
1 新庄藩主戸沢家墓所(瑞雲院)維持管理事業	3
2 戸沢家墓所(桂嶽寺)保存補修事業	4
3 旧農林省積雪地方農村経済調査所 (登録有形文化財)保存修理事業	5
4 天満神社本殿拝殿保存補修事業	6
5 最上公園(新庄城址)修景整備事業	7
6 旧農林省蚕糸試験場新庄支場周辺地域整備事業	8
7 新庄まつり振興事業	9
8 文化財等保存団体支援事業	10
9 無形民俗文化財等調査記録情報発信事業	11
10 新庄開府400年記念事業	12
11 小中学生の歴史学習推進事業	13
12 地域の歴史・文化生涯学習推進事業	14
13 城下町周遊まち歩き推進事業	15
14 観光地環境美化推進事業	16
15 歴史案内人養成事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)		
1 文化財の保存、文化財の修理事業	18
2 文化財の周辺環境整備・防災に関する取り組み	19
3 文化財の普及啓発に関する取り組み	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)		
1 効果・影響等に関する報道 新聞、テレビ等の報道記録	21
⑥その他(効果等)(様式 1-6)		
1 市民の歴史的風致の認識向上	22
口法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	23

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
項目			
歴史的風致維持向上計画推進体制			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	・新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に、進捗管理・評価などの計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。 ・関係課で構成する庁内推進委員会や文化財の所有者・管理者、関係団体などとの連絡調整を行い、本計画の円滑な推進に努める。 ・国や山形県との協議を行いながら助言や支援を得るとともに、必要に応じて、新庄市文化財保護審議会や新庄市都市計画審議会などへ報告し、助言を得る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
関係部署間で連携を図り、また、「新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において意見、助言等をいただきながら、計画を着実に進めている。 【庁内事務局会議】2回実施 【庁内推進委員会】2回実施 【新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会】2回実施 第1回協議会(令和7年6月19日):推進体制の確認/年間スケジュール/計画の進行管理/個別事業の確認 第2回協議会(令和8年3月29日):令和7年度事業報告/令和7年度進捗管理・評価の実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<h3>【計画推進体制】</h3> <p>The diagram illustrates the 'Plan Promotion System'. It shows a central box for 'New City' (新庄市) containing the 'City Promotion Committee' (庁内推進委員会) and 'City Office' (事務局) with various departments. To the left, 'National Government' (国) and 'Yamagata Prefecture' (山形県) are shown with 'agreements' (協議) and 'advice/support' (助言支援) flowing towards the city. To the right, the 'New City Historical Windy Maintenance and Improvement Plan Promotion Association' (新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会) and 'Review Organs' (審議機関) are shown. The association provides 'agreements' and 'opinions' (協議, 意見) to the city, while the review organs provide 'reports' and 'advice' (報告, 助言). At the bottom, a box represents 'Cultural Property Owners, Managers, Related Organizations, Neighborhood Associations, and Local Residents' (文化財所有者・管理者、関係団体、町内会、地域住民等), with 'agreements' and 'adjustments' (協議, 調整) connecting them to the city office.</p>			
<p>■新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会開催状況 (写真は第1回協議会(令和7年6月19日 新庄市民プラザにて開催))</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	現在の街なみは、人口減少社会の進展や郊外の宅地開発などの影響で、市内中心部は空き家や空き店舗が増加している。中心市街地の空洞化が進展し、街なみの維持に様々な課題が生じてきている。都市計画事業と本計画における取り組みが連携し、相乗効果が生み出されるよう事業に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度、都市計画マスタープランに基づき、近年の著しい人口減少を踏まえて、将来に渡って持続可能なまちづくりを目指し、適切な土地利用の誘導等を行うことを目的とし、用途地域の見直しを実施した。(R8.3.10告示) 空き家調査により景観に影響を及ぼす恐れのある空き家や空き店舗を把握することが出来た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新庄市歴史的風致維持向上計画の次期計画認定までに景観計画を策定する必要がある。景観計画を策定するにあたり、最上公園周辺を重点地区とした計画内容を考え、計画策定に向け県と協議及び調整を行ってきた。翌年度以降も県と協議を継続し計画策定に向け準備調整に取り組む必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
【良好な景観を形成する施策の策定スケジュール】			
年度	項目	内容	
令和元年度	都市計画マスタープラン見直し	質の高い都市機能と快適性・利便性に秀でた居住空間を確保し、都市のにぎわいや文化的な生活、自然の豊かさや雪とともにある暮らしを味わい楽しむことができる都市計画の指針として策定。	
令和4～6年度	立地適正化計画の策定	都市計画マスタープランに基づき、まちなかに人を誘導することで人口減少や少子高齢化の中でも持続可能な都市づくりを目指す。令和6年度策定。	
令和5～6年度	用途地域見直し	令和4年度に実施した基礎調査結果を基に、令和6年度見直しを行った。(工業系の見直し及び用途地域の拡大、縮小による変更)	
令和7年度	用途地域見直し 空き家の全数調査	柔軟な土地利用、利便性の向上、住宅地の環境保護による各地区の用途地域の変更を行った。(城南町(学校用地)、桧町(商業施設)、十日町(鉄道沿線)) 空き家等実態把握調査を実施し状況確認や所有者へ活用について意向調査を行った。	
令和7～12年度	景観計画の策定	本市の良好な景観形成に向けた景観まちづくりを推進するため、景観法に基づく景観行政団体に移行し、景観計画の策定を行う。	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
新庄藩主戸沢家墓所(瑞雲院)維持管理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 瑞雲院にある国の史跡・新庄藩主戸沢家墓所(御霊屋)は、令和3年度まで大規模な保存修理が終了しているが、今後は、補修や差し萱などの措置を施すなど経年の劣化に随時対応するとともに適切な維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

4号棟の屋根北面及び西面の差し萱修繕を実施。
令和5年度に制御盤の不具合が判明した屋外消火設備については、国の防災施設整備費補助金を活用し、令和8年度以降改修工事を予定。

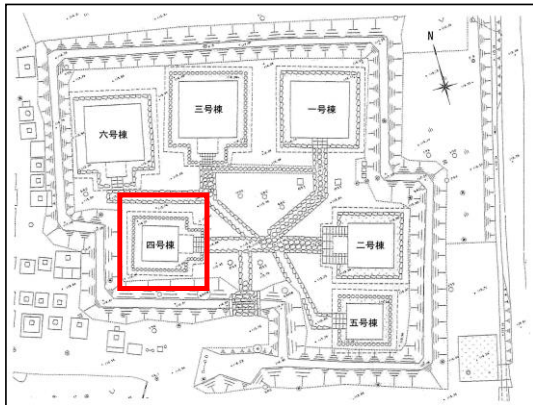
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存修理工事から5年以上経過した御霊屋について順次差し萱修繕を実施する。また、設備老朽化や災害に伴う突発的な修繕に迅速に対応する必要がある。

状況を示す写真や資料等

■4号棟差し萱修繕(工期: 令和7年5月22日～令和7年7月31日)

○位置図

○写真(上・中:作業中 下:完成)



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
新庄藩主戸沢家墓所(桂嶽寺)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)

計画に記載している内容 桂嶽寺にある国の史跡・新庄藩主戸沢家墓所(2代正誠)は、御霊屋の老朽化と参道の劣化が進んでいることから、建造物の保存修理と参道の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存修理工事(こけら葺き屋根の葺き替え)を実施。
 加えて、環境整備として御霊屋周囲の樹木伐採を実施し、建物の保存環境を改善した。
 参道整備については、文化庁、所有者等と協議のうえ対応方針を決定する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

参道整備にあたっては、事前の発掘調査が必要となるため、対応方針を検討のうえ、作業体制や施工時期を決定していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■保存修理工事(令和7年5月21日～令和7年11月22日)

○位置図



○保存修理工事写真(上:工事前、中:工事中、下:完成)



○樹木伐採業務(左:実施前、右:実施後)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
旧農林省積雪地方農村経済調査所(登録有形文化財)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)

計画に記載している内容 登録有形文化財(建造物)である旧農林省積雪地方農村経済調査所は、平成25年(2013)に実施した耐震診断において、倒壊する可能性が高いと診断されていることから、建造物の耐震補強とさらなる公開活用に向けた改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当初の計画では、令和6年度に実施設計を行い、令和7年度に改修工事を実施する予定であったが、令和6年度に発生した豪雨災害の影響により計画に遅れが生じている。
 令和5年度の保存活用計画策定から期間が空いているため、対象施設の保存修理はもとより、施設を含むエリア全体の歴史的風致の価値向上を目的とした施設の利活用の戦略を策定のうえ、実施設計を行う方向で調整中である。
 利活用戦略においては、施設単体の整備にとどまらず、周辺エリアとの連携による周遊観光の視点等もふまえながら、より多くの人に活用してもらえるように、今後の活用方針の検討を進めることとする。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後の大まかな予定として、令和8年度に利活用の戦略策定、令和9年度に実施設計、令和10年度に改修工事を実施する方向で検討している。

状況を示す写真や資料等

■保存活用計画(令和5年3月策定)



■現況写真(正面・裏側)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
天満神社本殿拝殿保存補修事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和7年度～令和8年度

支援事業名 山形県文化財保護管理事業費補助金(県)

計画に記載している内容 県指定文化財(建造物)である天満神社本殿・拝殿は、平成23年から2か年で大規模な改修事業を行ったが、萱屋根の劣化が進んでいるため、改修を行う所有者へ支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県担当課及び学識者による保存実態調査を実施した。(9月6日)
 保存状態調査の評価では、茅材及び木部の一部に経年による劣化が認められ、今後計画的な修繕の検討が必要であるとの意見が示された。(12月)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

保存実態調査の評価をふまえ、所有者や県と今後の対応について協議する必要がある。

状況を示す写真や資料等

■現況写真



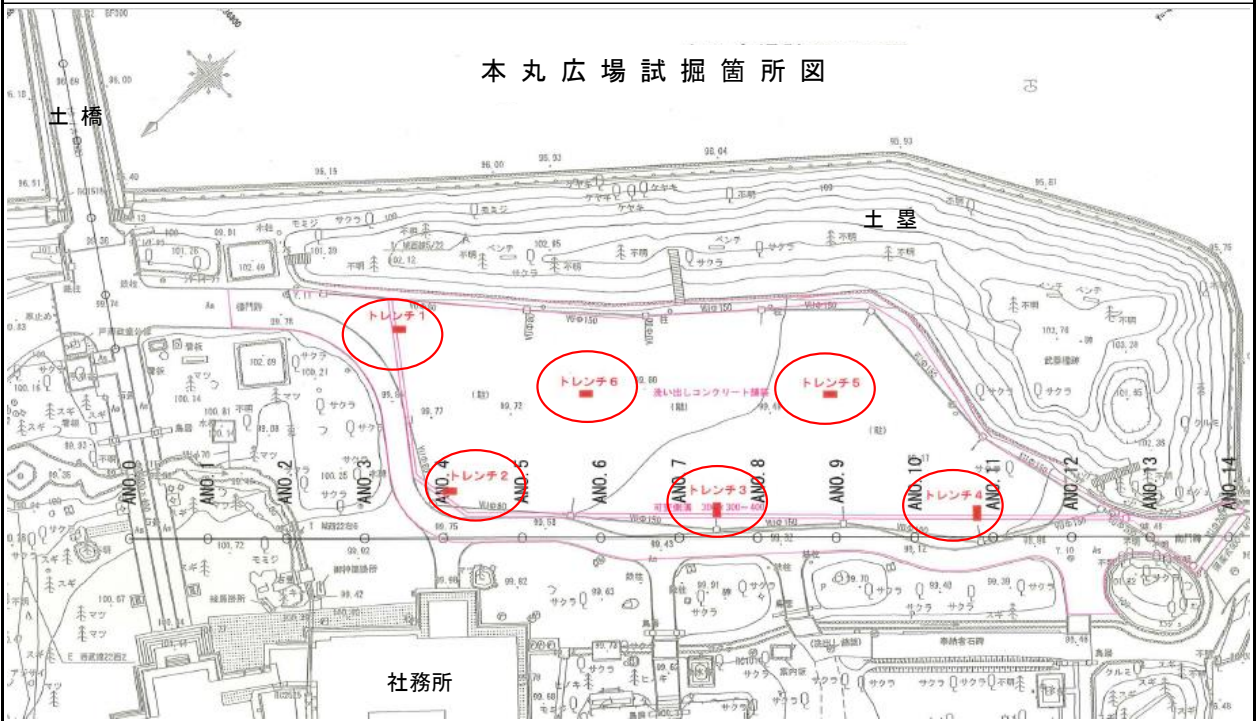
■保存実態調査(8月5日)



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
最上公園(新庄城址)修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業 / 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	最上公園について、堀や土塁とともに表御門や隅櫓などの歴史的な面影を感じることができる城址公園としてふさわしい景観形成を目指す。さらに、周辺の公共施設と一体となった整備を図ることで都市公園としての機能を充実させる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度に作成した「最上公園(新庄城址)整備基本構想」を基に令和5年度に策定した「最上公園整備基本計画」。この基本指針に則り、令和6年度にはエリア内の新庄ふるさと歴史センター南側の駐車場の一部整備を実施した。令和7年度は、エリア全体の基本設計を実施し、最上公園内の景観にあった施設となるよう実施した。景観形成のみにとどまらず、近隣公共施設への来客の満足度を向上させ、エリアの魅力向上を狙う。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本年度、今後の整備のために本丸広場の試掘を実施した際に、近世の瓦と思われる物などが出土し、県の意見と指導の結果、本格調査(発掘調査)を行わなければ、掘削を伴う工事が出来ないこととなり、今後の計画を見直す必要がある。 令和8年度は、二の丸広場の新保育所南側の芝生広場整備と、歴史センター南側の駐車場整備を予定。なお、施設利用者や公園利用者へ影響が及ばないよう、関係機関と連携を取りながら対応する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



試掘状況



調査状況



出土品の一例



評価軸③-6

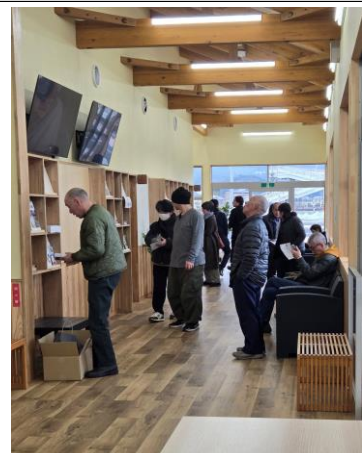
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧農林省蚕糸試験場新庄支場周辺地域整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業 / 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	旧農林省蚕糸試験場新庄支場への来訪者のさらなる利便性の向上のため、園内の通路や広場、駐車場、トイレ、休憩施設などの整備を行う。また、隣接する新庄藩主戸沢家墓所の駐車場整備など、地域内の周遊が促進されるよう一体的な整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年4月に策定した整備計画に基づき、令和7年度オープンを目指し、国の登録有形文化財(建造物)「旧農林省蚕糸試験場新庄支場」を活用した道の駅の整備を進めた。			
【経過】			
令和4年度 ・用地測量実施 ・国と道の駅整備に係る協定書を締結(国市の一体型整備) ・事業用地取得			
令和5年度 ・設計業務実施 ・造成(盛土)工事実施 ・道の駅整備後の具体的な利活用の検討作業実施(各種事業の実証等)			
令和6年度 ・造成工事実施 ・水路流末工事実施 ・情報提供・休憩施設建設工事実施			
令和7年度 ・情報提供・休憩施設建設工事 ・駐車場整備工事 ・市道北辰学校前線改良工事			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和7年12月に道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」がオープンした。令和8年4月のオープン記念イベントをはじめ、利用促進を図っていく。また、今後はエコロジーガーデン内の無電柱化による修景整備を予定。		

状況を示す写真や資料等



道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」
情報提供・休憩施設整備事業



オープン後の情報提供・休憩施設の利用状況



道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
項目			
新庄まつり振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	各事業開始年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	新庄まつり実行委員会及び新庄まつり山車行事保存会の運営を支援するとともに、山車製作若連や囃子若連に対し、保存継承に向けた施設整備や楽器などの修理、更新などに必要な経費の一部を補助する。また、新庄まつりの認識向上や観光交流の拡大に向けた広報宣伝や情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<実行委員会・保存会等の運営支援> ・新庄まつり実行委員会負担金 39,996,000円交付した。また、新庄まつり270年記念事業負担金として、4,000,000円交付した。 ・新庄まつり囃子保存基盤整備補助金を5団体、925,380円交付した。(関屋・角沢・山屋・本合海・飛田の囃子若連) ・国指定重要無形民俗文化財「新庄まつりの山車行事」の保持団体に対し運営補助金を343,000円交付した。 ・新庄市コミュニティー助成事業による若連法被、物品の購入に対し、1団体 2,200,000円の助成を行った。(東本町若連) <新庄まつり認識向上に向けた取り組み> ・新庄まつりの歴史認識の学習機会創出のため、小中学生などを対象とした新庄まつりに関する出前講座を実施した。(市内3校) また、東北農林専門職大学と農林大学校でまつりの歴史や概要説明を行い、学生の参加を呼びかけ11人の学生の参加があった。 <観光交流の拡大に向けた取り組み> ・東京都内のエージェント、宮城県、福島県、秋田県の観光施設にて観光PR活動を行った。また、新庄まつり開催期間に岐阜県大垣市、栃木県鹿沼市、那須烏山市、青森県八戸市と観光交流を行った。 このほか、令和7年度に新庄まつりが270年を迎え、「新庄まつり市民総参加宣言式典」や「まちなか子ども鹿子踊り」などの記念行事を実施した。 ・東北山・鉾・屋台協議会総会が新庄まつり期間に本市で開催され、ユネスコ無形文化遺産登録で繋がった他自治体との交流をさらに深めることができた。 <参考>新庄まつりは毎年開催日が固定(8/24～26の3日間) ・新庄まつり人出 R5 38万人 R6 42万人 R7 44万人(2万人増)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新庄まつり百年の大計・第4期計画に基づき諸課題(担い手不足、若連の財政課題、熱中症対策)の解決に向け取り組みを進める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;"> <p>■宵まつり山車行列(宵まつり 8/24)</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>■神輿渡御行列(本まつり 8/25)</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>■市民総参加宣言式典(ゆめりあ 8/23)</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>■まつりを盛り上げる囃子</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>■奉納鹿子踊(後まつり 8/26)</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>■まちなか子ども鹿子踊り(南本町十字路 8/26)</p>  </div> </div>			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財等保存団体支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	各事業開始年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	各地域に伝承される有形・無形の文化財等の保存や継承活動を行う団体などに支援を行い、郷土の貴重な文化や景観などの保護と継承を図る。また、団体などへの支援の充実を図るため、新庄ふるさと歴史センターを拠点とする機能の強化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○団体等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市指定史跡(2件)について地域団体と協定を締結し、適切な維持管理に努めた。(2件 60,000円) ・国指定名勝「おくのほそ道の風景地本合海」を維持管理する地域団体に対し負担金80,000円を交付 ・その他、国指定重要無形民俗文化財「新庄まつりの山車行事」の保持団体に対し運営補助金343,000円を交付 <p>○協賛事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄凧フェスティバル(6月15日) ・みちのく民話まつり(7月7日、9月13日) ・新庄こども語りまつり(2月14日) 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き各団体と連携を図りながら取り組む。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■国指定名勝おくのほそ道の風景地本合海環境整備活動(6月29日・9月6日)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>■新庄まつり山車行事保存会事業 東北山・鉾・屋台協議会総会(8月24日)</p> <div style="text-align: center;">  </div>			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
無形民俗文化財等調査記録情報発信事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財や未指定の地域伝統行事について、記録映像や調査記録をアーカイブ(保存・保管)し、広く情報発信することにより、地域住民や市民の認識向上を図り、郷土の貴重な伝統行事の保護と継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・新庄民話の会との協働で「みちのく民話まつり」口演の様子を映像及び写真資料として記録。(7月、9月)
 ・市指定無形民俗文化財「新庄亀綾織」について、主に情報発信を主担当とする地域おこし協力隊員1名を雇用。Instagramを活用し、国内だけでなく、日本文化に興味を持つ外国人をターゲットに多言語での情報発信を開始した。(8月～)
 ○その他事業
 ・新庄風フェスティバル(6月15日)
 ○地域伝統行事
 サンゲサンゲ(12月7日)、山の神の勸進(12月14日)、鳥越神楽(1月25日)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

亀綾織以外の無形民俗文化財についての情報発信の強化
 映像記録の活用方法の検討
 各団体の課題調査と支援方策の検討
 その他事業について、今後更なる情報発信に努め周知する必要がある。

状況を示す写真や資料等

■みちのく民話まつり(左:夏語り7月7日、右:秋語り9月13日実施)



■新庄風フェスティバル(6月15日実施)



■外国人ツアー客への新庄亀綾織の紹介(10月)



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
新庄開府400年記念事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 新庄開府400年を契機に、本市の歴史や文化、まちづくりを振り返り、郷土への愛着と誇りを高め、さらなる発展につなげることを目的に「新庄開府400年記念事業実行委員会」を設立し、記念事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・実行委員会総会(7月、3月)
- ・今村翔吾氏講演会「400年の歴史が描く新庄の未来」／ダンスプロジェクト「羽州ぼろ鳶組」初披露(5/25 来場者約650名)
- ・ダンスプロジェクト羽州ぼろ鳶組 YOSAKOIソーラン祭り出場、新庄まつりダンスパレード
- ・新庄開府400年記念市民提案事業(申請45件 採択31件)
- ・鍛金家 奥山峰石米寿記念展－人間国宝認定30年の軌跡－(8/2～8/17 来場者1,006名)
- ・特別展「新庄藩ゆかりの宝物展」(9/13～10/13 来場者2,224名)
- ・特別展「洋画家近岡善次郎作品展－ZENJIROの世界－」(10/31～12/16 来場者1,492名)
- ・ふるさと探究学習助成事業(小・中・義務教育学校9校への助成、記念式典での取組み発表)
- ・親子で体験！新庄の伝統工芸ワークショップ(2/1～2/22 全4回 参加者延べ63名)
- ・新庄開府400年記念戸沢サミット(9/27 参加者約100名 ※戸沢家当主のほか、戸沢政盛公ゆかりの自治体関係者)
- ・新庄開府400年記念式典(9/28 来場者約1,500名)

進捗状況 ※計画年次への対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■市報特集記事



■事業写真



ダンスプロジェクト「羽州」ぼろ鳶組



奥山峰石米寿記念展



新庄藩ゆかりの宝物展



戸沢サミット



記念講演会チラシ



記念式典

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小中学生の歴史学習推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 各事業開始年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の小中学校・義務教育学校における総合的な学習などの一環として、地域の伝統行事や伝統工芸などの有形・無形の文化財等の学習を行い、郷土の貴重な歴史や文化について理解を深める。また、社会科副読本などを整備・充実することで、効果的な歴史学習を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・新庄小学校歴史クラブの活動での案内・解説(7月～10月 6回 各回児童8名参加)
 ・新庄市×高萩市児童交流事業事前オリエンテーションへの協力(7/5)
 ・市内中学校の総合学習への協力(8/4 新庄中学校 2名、11/1 日新中学校 3名)
 ・ふるさと歴史センターでの市内中学校職場体験学習の受入れ(8月 新庄中学校 1名、10月 萩野学園 1名)
 ・中堅教諭等を対象とした研修(8/7 市内各校教諭 約10名)
 ・市内小学校の総合学習での案内・解説(12/4 日新小学校 約90名)
 ※ 8月に予定していた、ふるさと歴史探訪については、熱中症防止のため未実施としたが、代替事業として、親子で体験！新庄の伝統工芸ワークショップを開催した。(2月1日～22日 全4回 参加者延べ63名)※新庄開府400年記念事業の再掲

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今年度初開催となる伝統工芸ワークショップについて、参加者からのフィードバックを来年度の事業計画に活かす。

状況を示す写真や資料等

■市内小学生の歴史学習



市内小学校クラブ活動の様子
(ふるさと歴史センター職員による解説)



市内小学校クラブ活動の様子
(ふるさと歴史センター職員による解説)

■新庄の伝統工芸ワークショップ



2/1 第1回 東山焼



2/8 第2回 福雀



2/21 第3回 亀綾織
(しおり製作)



2/22 第4回 隠明寺凧
(凧揚げ体験)

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
地域の歴史・文化生涯学習推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和62年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民を対象に、郷土の歴史や文化を学ぶ講座「明倫堂講座」を開催し、郷土の歴史や文化について知識や理解を深める機会を提供する。また、各生涯学習施設においても、地域の歴史や文化を学ぶ講座や講演などを開催し、学習の機会を充実させる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・新庄藩校明倫堂講座の開催(5月～11月 計6回 受講人数延べ362名)</p> <p>第1回 5月31日 「戸沢氏入部以前の新庄・最上の歴史」 講師:伊藤清郎氏(山形大学名誉教授)</p> <p>第2回 6月20日 野外研修「真室川町の歴史」</p> <p>第3回 7月18日 「初代新庄藩主 戸沢政盛の新庄入部」 講師:武田一夫氏(新庄市文化財保護審議会会長)</p> <p>第4回 9月19日 「新庄藩の藩政改革」 講師:三浦和枝氏(最上地域史研究会幹事)</p> <p>第5回 10月10日 野外研修「新庄藩ゆかりの城下町角館を巡る」</p> <p>第6回 11月23日「戊辰戦争における米沢藩と新庄」 講師:阿部哲人氏(米沢市上杉博物館学芸員)</p> <p>・その他、市生涯学習施設での取り組み</p> <p>わくわく新庄・・・野外講座「新庄文化財めぐり」 5月23日 参加者20名 野外講座「新庄歴史さんぽ」 6月21日 参加者19名 野外講座「七所明神めぐり」 10月3日 参加者15名</p> <p>雪の里情報館・・・野外講座「新庄の水辺探訪」 5月31日 参加者13名 講座「雪調と松田甚次郎と新庄町の人々」 6月8日、11月29日 参加者延べ33名 講座「移民政策と昭和開拓」 9月7日 参加者32名 特別展「雪調と民芸～雪調コレクションより～」 9月6日～11月9日</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の情報発信の強化、効率的な手法の検討 生涯学習施設間の連携事業の検討 若年層が参加しやすい講座内容、実施手法の検討		
状況を示す写真や資料等			
<p>■新庄藩校明倫堂講座</p>  <p>第1回 座学研修</p>	<p>■わくわく新庄事業</p>  <p>文化財めぐり</p>	 <p>七所明神めぐり</p>	
 <p>第2回 野外研修</p>	<p>■雪の里情報館事業</p>  <p>新庄の水辺探訪</p>	 <p>講座「雪調と松田甚次郎」</p>	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
城下町周遊まち歩き推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に点在する歴史的資源の周遊を促すため、市民や来訪者が史跡や歴史的建造物等を巡るマップの作成やアプリの導入を図るとともに、標柱や案内表示板の整備を行う。また、レンタサイクルや循環バス、観光タクシーなどの二次交通の充実を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和5年度に作成した新庄城下まちあるきガイドブックに掲載された歴史資源や観光施設を周遊するための二次交通手段として、各観光施設間のタクシー移動を1回500円で利用できるワンコインタクシー事業を実証実験として開始した。令和7年度は8月～12月までの事業期間とし、新庄駅・最上公園・エコロジーガーデン・まちなか漫画ミュージアムなどの観光施設を乗降地とした。アンケート調査や利用状況の結果から、「利用方法が分かりにくい」などの意見があるなど周知方法に課題があるものの、9割の方から「良いサービス」との評価を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

利用状況やアンケート結果に基づき運用方法等を改善しながら、次年度以降の本格稼働を目指し、ワンコインタクシー事業による二次交通の拡充を進める。また、「利用方法が分かりにくい」などの意見があるため、周知方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

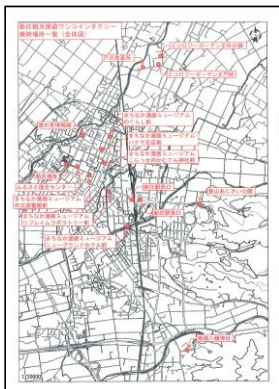
■歴史資源や観光施設を周遊できるワンコインタクシーのポスターとチラシ



■城下の歴史資源を掲載したガイドブック



■ワンコインタクシー乗降場所マップ



■新庄駅タクシー乗場とポスター貼付け状況



評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光地環境美化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に点在する歴史的建造物や史跡などについて、来訪者が快適に見学できるよう、定期的に清掃や草刈り、除雪作業などの環境美化を行う。また、イベント開催時の案内誘導やごみの回収などを行い、来訪者のおもてなしを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
年間を通じ草刈り作業等を行い、観光地の環境整備を行った。 施設数:13カ所 活動延べ日数:104日(うちイベント開催時の衛生管理 4日)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、適切に環境整備を実施する		
状況を示す写真や資料等			
■戸沢家墓所(草刈り) 			
■一里塚(草刈り) 		■芭蕉乗船の地(除雪作業) 	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史案内人養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者に対して、歴史的資源や文化を分かりやすく案内ができる人材を養成するため、講習会や現地視察などの研修を行う。また、外国人観光客への対応として、多言語に対応したガイドの育成や派遣を行う団体を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ガイド研修に参加し、新庄市に訪れた観光客へ市内旧跡のガイドを実施した。
 <実績>
 ○NPO新庄観光ガイド協議会(ガイド登録者数:14名)
 ・ガイド研修 37名参加(3回実施・主催:新庄観光ガイド協議会2回、県観光ボランティアガイド連絡協議会1回)
 ・活動日数 3日間・5名(R7.4～R8.2)
 ・案内した観光者数 63名(R7.4～R8.2)
 健康ウォーキング30名、高校生総合学習2名、台湾留学生グループ31名
 ○新庄おもてなしレディース(多言語ガイド)(登録者数 11名)
 ・研修会 4回開催
 ・案内件数(R7.4～R8.2)
 個人 9名(台湾、コスタリカ、オーストラリア、アメリカ、インドネシア)
 団体 2団体 35名(市内企業インターンシップ生(モンゴル人グループ)4名、台湾留学生グループ31名)
 (参考)クルーズ船ツアー案内 3回 計約280名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ボランティアガイドの高齢化が進んでいるため新規加入者の確保が必要である。名所旧跡の知識の継承が課題。

状況を示す写真や資料等

■ガイド研修(戸沢家墓所)



■おもてなしレディースガイド研修



■ガイド研修(鳥越八幡神社)



評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	所有者や管理者、保存団体などと連携し、適切な保存管理に努めていく。 指定等文化財を維持するための修理及び整備にあたっては、各種法令に基づくとともに、専門家の指導を受け、適切に対応する。 市民向けに改修現場見学会を開催するなど、修理の材料や過程、伝統技法に対する理解を深める機会の創出に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○文化財の修理事業</p> <p>史跡新庄藩主戸沢家墓所(桂嶽寺・7号棟)について、経年劣化が進んだこけら葺き屋根の保存修理工事を実施した。 工期:令和7年5月～11月 工事概要:柿葺き屋根の解体復旧 屋根面積44㎡ その他:関連事業として7号棟周囲の立木を一部伐採し、建物への通風及び採光を向上させ、環境改善を図った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の維持管理を行うための資金調達。特に建造物の保存修理事業は、所有者(管理者)負担が多額になるため、所有者、関係者等との合意形成を図る必要がある。 ・文化財を指定後、その価値を後世にいかに伝えていくか、保存と活用の適切なバランスを考慮する必要がある。 ・今後の文化財の整備等に向け調査等に係る、考古分野の専門的な助言指導が必要である。 		
状況を示す写真や資料等			
<p>■史跡新庄藩主戸沢家墓所(桂嶽寺・7号棟)保存修理工事 左上:着工前 右上:工事中 下:完成(雪囲い後)</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の周辺環境整備・防災に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の保存活用を図るうえで、その周辺環境と一体的に整備することが必要である。市民や来訪者が歴史を感じながらまち歩きができる環境整備を行うものとする。
 重要文化財(建造物)等防災施設整備事業指針及び新庄市文化財防災マニュアルに基づき、市や文化財の所有者、管理者は日ごろから高い防災意識を持って保存管理に努めていく必要がある。個別の有形文化財ごとに防災対策を検討するなど、被災の予防やリスクの軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の周辺環境整備
 国指定名勝「おくのほそ道の風景地本合海」(市指定史跡「八向楯跡」含む)の環境整備について、地元団体との協働事業として八向楯跡及び八向山登山道の整備を実施(6月・9月)

○文化財の防災
 ①令和6年7月の豪雨災害により被災した市指定有形民俗文化財「雪国の民具」の保全作業を実施(7月・9月)
 ②文化財防火デーに合わせた国指定文化財の消防設備検査(1月)
 ③国指定史跡「新庄藩主戸沢家墓所(瑞雲院)」火災防御訓練(1月)
 ④令和6年7月の豪雨災害により被災した新庄ふるさと歴史センターの設備の修繕に着手した。(1月)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の所有者、管理者、地域、関係機関と連携し、継続して取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

■国指定名勝「おくのほそ道の風景地(本合海)」
環境整備活動(6月・9月)



■市内文化財消防設備検査(1月20日)



■水損文化財保全作業(7月・9月)



■火災防御訓練(1月31日)



評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の普及啓発に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
地域の歴史や文化に特化したガイドブックの作成や案内板・説明板の設置により積極的な普及啓発に努める。学校教育現場における伝統行事等を学ぶ体験学習、生涯学習としての地域史講座や史跡めぐり、歴史案内人養成講座の開催などにより幅広い年齢層への普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○体験学習・講座等

新庄藩校明倫堂講座(R7.5~R7.11 計6回 受講人数延べ362名) ※地域の歴史・文化生涯学習推進事業の再掲
 特別展「新庄藩ゆかりの宝物展」(R7.9.13~10.13 来場者数2,296名 市指定文化財7点展示)
 親子で体験! 伝統工芸ワークショップ(R8.2.1~2.22 計4回 参加者延べ63名) ※新庄開府400年記念事業の再掲

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き地域団体や学校と連携し、様々な方法で普及啓発に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

■新庄藩校明倫堂講座



座学形式の講座



野外研修

■特別展「新庄藩ゆかりの宝物展」



絵図・掛け軸 展示風景

■伝統工芸ワークショップ



東山焼



亀綾織り



甲冑・陣羽織・袴 展示風景



福雀



隠明寺風

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度 掲載紙等
持続可能な新庄まつりへ 実行委 検討組織設置方針を了解	R7.4.29(月)	山形新聞
秘仏ご開帳と大般若会開催 新庄・瑞雲院	R7.5.15(木)	山形新聞
涼誘う薄紫 新庄・桂嶽寺 フジの花見頃	R7.5.24(土)	山形新聞
新庄開府400年記念 小中高生が初披露 火消しの姿、力強く踊る	R7.5.26(月)	山形新聞
城下町の歴史を学ぶ 新庄中2年生 名所旧跡、12キロ踏破	R7.5.27(火)	山形新聞
新庄指定有形民俗文化財 雪国の民具 収集半世紀 被災も超えて(歴セン)	R7.6.2(月)	山形新聞
新庄藩の見分深める 全4回の講座スタート	R7.6.5(木)	山形新聞
被災民具訴える防災 豪雨で破損やゆがみ(雪里)	R7.7.3(木)	山形新聞
新庄開府時想像絵図の看板設置 最上公園	R7.8.13(水)	山形新聞
新庄まつりへ盛り上げへー役 山車制作 囃子担い手に/ミニチュア山車を紹介	R7.8.24(日)	山形新聞
新庄まつり270年の節目 山車行列 市内に熱気 ダンスパレードに沸く	R7.8.26(火)	山形新聞
最後まで熱気続く鹿子踊 新庄まつり後まつり	R7.8.27(水)	山形新聞
新庄まつり270年祭 ～歴史絵巻に酔いしれて～	R7.9.6(土)	山形放送(YBC)
新庄まつり270年祭 ～新庄開府400年 未来へつなぐ～	R7.9.13(土)	山形テレビ(YTS)
「開府400年」を手話劇に 戸沢政盛を題材	R7.9.24(水)	山形新聞
開府400年共に祝おう あす記念式典 小和田さん、今村さん特別対談	R7.9.27(土)	山形新聞
歴史生かしまちづくり 新庄開府400年記念「戸沢サミット」で宣言	R7.9.28(日)	山形新聞
「人のつながり守り次の100年へ」 山形の新庄開府400年で式典	R7.9.30(日)	朝日新聞
中秋の名月 照らす舞 新庄・戸沢神社 観月雅楽会	R7.10.18(土)	山形新聞
天満神社 創建400年祝う 新庄藩主戸沢家の氏神、記念大祭	R7.11.4(火)	山形新聞
5代藩主 正謙が現代に!? 高校生チームWATS 新庄開府400年記念の映画完成	R7.12.5(金)	山形新聞
新庄の新よりどころに 道の駅「エコロジーガーデン原蚕の杜」開業	R7.12.16(火)	山形新聞
山形・新庄の農民運動家、松田甚次郎の生涯を短歌に 開府400年関連事業	R7.12.20(土)	朝日新聞
開府400年記念 市民実行委が制作 新庄弁かるたおもしろにや	R8.1.11(日)	山形新聞
ほっとネットとうほく 立ち上がれ！我ら羽州ぼろ鳶組(トキムタリー)	R8.2.21(土)	山形テレビ(YTS)
どすこいやまがた新庄場所 ～亀綾織り～	R8.3.18(水)	テレビユー山形(TUY)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年度は新庄開府400年および新庄まつり270年の節目の年にあたり、各種事業が展開された。歴史まちづくりに関する各種事業の取組み等も、数多くのマスコミ報道で取り上げられ、市民の機運向上に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■「新庄まつり」は多くの報道で取り上げられた



■開府400年式典



■特番の一部で亀綾織りが紹介された



評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目

市民の歴史的風致の認識向上

計画に記載している内容
市民が歴史まちづくりについての理解を深めるため、地域住民や地元団体と連携・協力しながら、本市の歴史や文化、歴史的風致に関する講座などを開催し、市民の認識向上を図る。また、本市の歴史や文化について、市民に分かりやすく伝えるため、ホームページや市報などを活用しながら効果的な情報発信を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・計画策定を受け、市報での特集記事の掲載や、「歴まちカード」の周知など、情報発信に努めた。
- ・令和4年度に「まちあるき」を開催。その事業の2回目となる令和7年11月1日に山形県と共同で、歴史的なスポットを訪れ、その場所のなりたちを深掘りしながら、新庄のまちのおもむきや風情などの魅力を再発見する「まちあるき」を開催した。(参加者:29名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■まちあるきレポート

第2回新庄城下の歴史探検まちあるきレポート
【令和7年11月1日開催】

～駅前・のりばスポットを巡る～

景観について学びながら新庄市のまちを形成してきた歴史的な建造物やその背景を知ることで新たな魅力を発見しました。

新庄開府 400年 1625-2025

SHINJO FESTIVAL 270th 1756-2025

■まちあるきの状況



米山邸倉庫蔵

旧・佐藤製粉所

三吉神社

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 令和7年度第2回新庄市歴史的風致維持向上計画推進協議会 会議等の開催日時：令和8年3月29日(日)	
【各評価軸についての主なコメント】	
<p>■P2 評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策 ・景観法に基づく景観計画は重要。新庄駅から最上公園周辺は重要なスポット。最上公園南側に新たな高校が建設されるが、景観に配慮した建物となるように山形県と、情報共有しながら、協議をすすめることが重要である。</p> <p>■P5 評価軸③-3 旧農林省積雪地方農村経済調査所(登録有形文化財)保存修理事業 [計画通り進捗していない](工事实施年度の見直し) ・昨年の計画から事業が進展していないため、法改正後の国の支援を視野にいれつつ、今後の市民の意見を取り入れながら戦略策定願いたい。</p> <p>■P7 評価軸③-5 最上公園(新庄城址)修景整備事業 [計画通り進捗していない](試掘により近世の瓦と思われるもの等が出土。本格調査が必要。) ・今後最上公園や桂嶽寺の発掘調査の際は、発掘の経過を見せるなど広く市民に周知する必要がある。</p> <p>■P12 評価軸③-8 新庄開府400年記念事業 ・藩主戸沢氏を中心とした関係自治体と観光交流や文化交流を実施しているので、該当する評価軸はないが、どこかの項目に記載した方がよい。</p> <p>■P17 評価軸③-15 歴史案内人養成事業 ・他地域の例として、湯沢市では子供たちが地域の歴史や文化を学び、来客者へ観光案内していることは全国に展開している。子供たちも学んだことを発表できる場がある事で、自信にもつながる。案内人の育成を広げる必要がある。</p> <p>■P18 評価軸④-1 文化財の保存、文化財の修理事業 ・建築分野において、ヘリテージマネージャー制度を活用し、建築士会に平常時のパトロールや災害時の被災調査を担ってもらうことも可能。昨年、横手市で支援団体に建築士会を指定したので参考にされたい。</p>	
(今後の対応方針)	
P2評価軸②-1: 景観計画は、現在、県と協議しながら策定に向け協議及び調整中であるため、引き続き協議を重ねていく。また、学校建設に関し、県と情報共有していく。 P7評価軸③-3: 耐震改修工事で完結するのではなく、周辺の施設と関連性を持たせ、誘客につなげられるような利活用戦略を令和8年度に策定したうえで、工事を実施予定。 P7評価軸③-5: 発掘調査は多額の費用が発生することから、実施の是非や事業計画を勘案しながら実施の方向性を定めたい。また、発掘調査の際は、広く市民に周知する。 P17評価軸③-15: 地元のガイド協議会等と情報共有し、今後の展開を検討していく。 P18評価軸④-1: 建築士会とは、支援団体指定に向けた協議を進めたい。	